

■ 武蔵野音楽大学楽器博物館・・・



これほど圧倒される博物館が、これほど近くにあることを、恐らくほとんどの人が知らないでしょう。それが今回紹介する「武蔵野音楽大学楽器博物館」です。

場所は、江古田駅を下車して、浅間神社脇を北に進み、斎場を越えた先にある武蔵野音楽大学江古田キャンパスの中にあります。加えて、有名なベートーベン・ホール奥の、目立たない3階建てのビルですから、ますます人の目を拒絶していると思えません。

この施設は、1953年に当時学長だった福井直弘氏が学生の研究資料にするため、ドイツから持ち帰った1個のヴィオラ・ダモーレから楽器蒐集が始まったそうです。そして、今や、江古田だけでは入り切らず、入間キャンパス博物館、パルナソス多摩展示室を加え、同博物館としての所蔵資料は、楽器は言うに及ばず、その付属品、音楽に関する装置・器具類、その他関係資料など5000点にのぼると言います。嵩張るものが多いことを考えると、とにかくその数の凄まじさに言葉を失います。

まず1階は、鍵盤楽器展示室です。100台以上のピアノやハープシコード、チェンバロなどが窮屈なまでに並べられています。ナポレオンの帽子を模したのや家具兼用タイプから、モーツァルトの「トルコ行進曲」演奏用の打楽器付きピアノを始め、CDに至る音楽ディスクの歴史をまざまざと理解できる、大きな鉄の円盤を使ったオルゴール群…。

2階はヴァイオリンやフルートなどの西洋管弦楽器を、3階はアジア・アフリカの民族楽器を地域別に展示しています。





以前は、毎週水曜日が博物館の展示一般公開でしたが、大学のホームページでは、毎週月曜日～金曜日（祝日を除く）10：00～16：00が一般公開となっていますので、直接武蔵野音楽大学（電話：3992-1121）にお問い合わせの上、ご訪問ください。これぞ「百聞は一見に如かず」、言葉では説明できないもどかしさを感じます。老婆心ながら、可能な限り、学芸員の説明を希望されることをお奨めします。